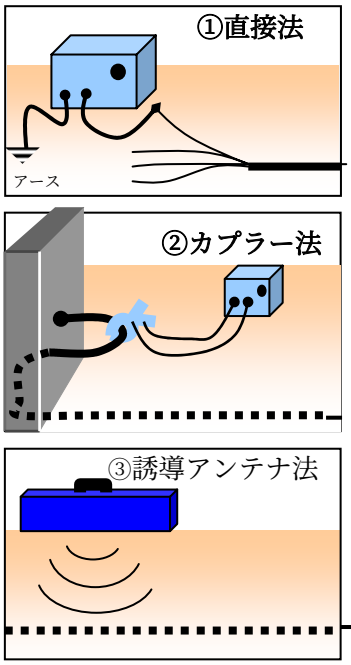
モデル501　埋設ケーブル探索機

地中・壁裏ケーブルの位置と深さが簡単に分かります！

◎ **埋設線の位置と深さを検出できます！**
◎ **距離約 2000m，深さ 4m まで探索可能**
◎ **3 通りの発信器の設置方法ができます**
◎ **無電圧線から活線の高圧線まで対応**
◎ **断線箇所･結線箇所の検出も可能！**
◎ **発信音とメーター読取りの簡単操作**

操作手順



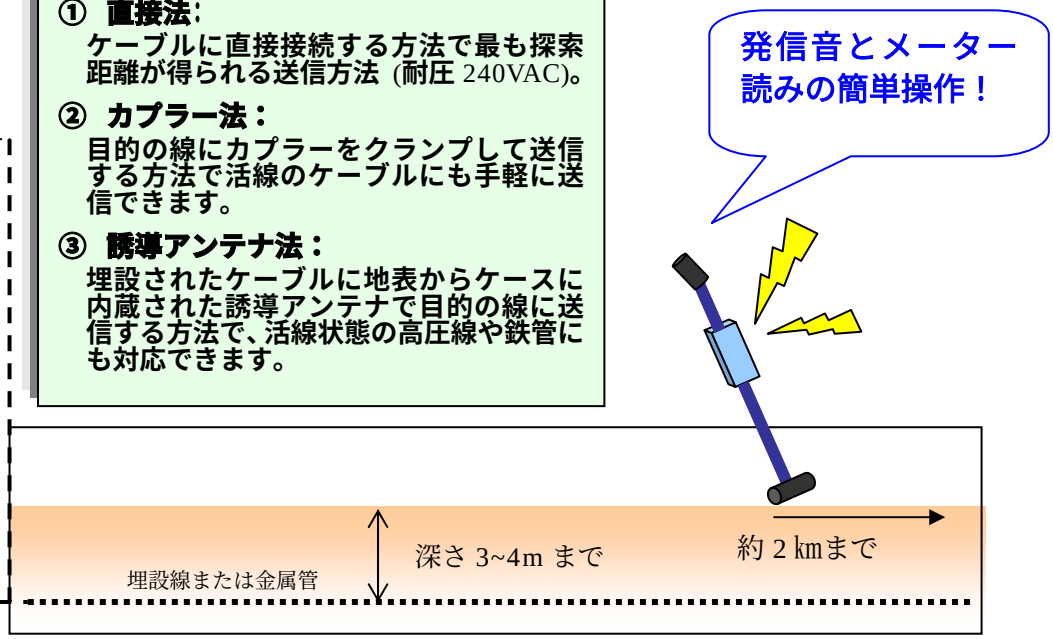
送信器の接続法

① 直接法:
ケーブルに直接接続する方法で最も探索距離が得られる送信方法 (耐圧 240VAC)。

② カプラー法：
目的の線にカプラーをクランプして送信する方法で活線のケーブルにも手軽に送信できます。

③ 誘導アンテナ法：
埋設されたケーブルに地表からケースに内蔵された誘導アンテナで目的の線に送信する方法で、活線状態の高圧線や鉄管にも対応できます。

受信器の操作方法



【セット内容】
発信器 (500HP)・受信器 (500R)・誘導カプラー・誘導アンテナ (ケース内蔵)・クリップ付コード (2 本)・ケース

【 仕 様 】

電源	発信器	単三電池×8本	受信器	9V 電池 1 ヶ	発信周波数	447.5KHz	出力	40Vp-p (140mW)	耐圧	240VAC, 500VDC
寸法 (mm)	発信器	76×76×102	受信器	813×70×102	ケース	851×209×95	総重量	約 3Kg		

標準価格：210,000 円(税込)

お問い合わせは

Tempo® A Textron Company

URL　http://www.goodman-inc.co.jp
e-mail　info@goodman-inc.co.jp

輸入発売元

株式会社 グッドマン

〒236-0024 神奈川県横浜市金沢区乙舳町９－１８

TEL.045-701-5680　FAX.045-701-4302

フリーダイヤル 0120-26-5527

隠れたケーブル･金属パイプのルート出しに！

モデル501埋設ケーブル探索機

特　長

- 埋設ケーブルの位置と深さを正確に検出
- 探索可能距離は 1~2 ㎞・深さ 3m まで
- 発信音とメーター表示を読み取る簡単操作
- 発信機は現場に応じて 3 通りの設置が可能
  〔直接接続・誘導カップラー・誘導アンテナ〕
- 電池駆動の小型軽量セットで持ち運びが容易
- 断線・結線箇所の検出、金属管の探索も可能
- 送電中のケーブルも探索できます
- 電話線等、通信回線に与える干渉は極少です

用途例

1. 埋設電線の位置と深さの探索

電線が無電圧の場合

① 発信機の一方の端子を目的の電線に接続し、他方をアースします。
② 受信機のメーターがピークを示し、信号音が最も強い箇所が埋設電線の直上になります。
③ 深さの測定は受信機を 45 ° 傾けた方法で行ないます。(詳細は取扱説明書参照)

電線が送電中の場合

① 発信機の両方の端子をカップラーに接続し送電中の電線にクランプします。
② 無電圧の場合と同様に探索します。
＊ カップラーが使えない状況ではケース内の誘導アンテナを使用します。

2. 埋設電線の断線箇所の探索

① 発信機の一方の端子を断線している電線に接続し、他方をアースします。
② 受信機で埋設ルートを辿り、メーター指針が急に下降する地点が断線箇所です。

3. 埋設された結線箇所の探索

“ 1. ”の手順で探索を行い、受信機の信号音が若干強まり受信機のアンテナが無指向性となる地点が結線箇所になります。

4. ビル内の配線経路の探索

① 受信機の一方の端子を目的の電線に接続し、他方は開放状態にします。
② 受信機のメーター及び信号音のピークを追尾する事で、壁・床・天井内の配線経路を検出します。

5. 共同構内の電線経路の探索

① 発信機の一方の端子を目的の電線に接続し、他方はアースします。
② 受信機の発信音とメーターが最も強く反応する線が目的の電線になります。

6. RC 鉄筋の位置の探索

① 発信機の両方の端子をケース付属の誘導アンテナに接続します。
② 探索したい地点から 3m 以上離れた場所に誘導アンテナを置きます。
③ メーターがピークを示す場所が鉄筋の位置になります。